

日本デジタル医学会雑誌 執筆要項

1. 原稿構成

1) . 原著

(1). 表紙 (Title Page)

本文とは完全に分離し、以下を記載する。

- 論文タイトル (和文および英文)
- 著者名 (和文および英文)
- 所属 (和文および英文)
- 連絡責任者 (Corresponding Author) 情報
- 全著者の論文への貢献度
- ORCID (全著者について推奨)
- COI の有無
- 倫理審査機関名・承認番号 (該当する場合)
- 臨床試験登録番号 (該当する場合)
- プレプリント登録の有無

(2). 抄録 (Abstract)

- 和文および英文で記載する。
- 目的/背景 (Background)、方法 (Methods)、結果 (Results)、結論 (Conclusion) などに沿った構造化抄録とする。

(3). キーワード (Key words)

5 個以内。Medical Subject Headings (MeSH) 用語の使用を推奨する。

(4). 本文

以下の順に記載する

- 序論/緒言/はじめに/目的/背景 (Introduction)
- 方法/材料と方法 (Methods/Materials and Methods)
- 結果 (Results)
- 考察 (Discussion)
- 結論 (Conclusion)
- データ利用可能性ステートメント (Data availability statement)
- 倫理的承認 (Ethical approval)
- 文献 (References)

(5). 著者資格 (Authorship) と貢献度 (CRediT)

研究への実質的貢献度に基づいて著者を決定し、著者名として記載する。各著書の貢献度は、以下の貢献者役割分類法 (Contributor Roles Taxonomy: CRediT) に沿って、Conceptualization (研究の立案)、Data curation (データ収集・整理)、Formal analysis (正式な解析)、Funding acquisition (資金獲得)、Investigation (調査)、Methodology (方法論)、Project administration (プロジェクト管理)、Resources (リソースの提供)、Software (ソフトウェア関係)、Supervision (監督)、Validation (検証)、Visualization (視覚化)、Writing – original draft (執筆-原稿の起草)、Writing – review & editing (執筆-レビューおよび校閲) を表紙に記載する。

記載例：

Conceptualization: 著者 A.
Data curation: 著者 B, C
Methodology: 著者 A, B.
Writing – original draft: 著者 A.
Writing – review & editing: 全著者

(6).謝辞 (Acknowledgments)

著者資格を満たさない技術協力、編集支援などの貢献者を本人の同意を得て記載する。

(7).利益相反の開示 (COI)

原稿に記載してある内容について、別紙の基準に従い Title Page に記載する（本文に記載しない）。採択後、編集委員会が本文末尾に挿入する。

(8).データ利用可能ステートメント (Data Availability Statement)

研究で使ったデータについて以下を記載する。

- 公開可能：リポジトリ名、URL、DOI
- 正当な要求があれば利用可能
- 共有不可：理由（倫理的制約、個人情報保護など）

(9).倫理的承認 (Ethical Approval)

ヒト・動物を対象とした研究では、倫理的配慮の方法について記載する。なお、本文には「所属機関の倫理審査委員会の承認を得た」とのみ記載し、倫理審査機関名と承認番号は Title Page に記載する。倫理審査免除の場合は、その理由を明記すること。

(10).引用文献 (References)

- Vancouver Style で本文の該当部の右肩に引用番号を片括弧で記し、本文最後に引用順に記載する。
- 著者は3名まで、4名以降は「他」または“et al.”とする。姓と名の上にコンマを入れない。名には省略記号(.)を付けない。
- 雑誌の記載：引用番号) 著者名. 題名. 雑誌名 発行年；巻：通巻ページ（始め-終わり）の順とする。略誌名は、日本文献は医学中央雑誌略誌名表に、外国文献は Index Medicus に従う。
- 書籍の記載：引用番号) 著者名. 題名（編者名）. 書籍名. 発行地. 発行所, 発行年：ページ（始め-終わり）の順とする。
- 電子化された資料の場合は、書誌情報に続いて URL と引用年月日または DOI を記載する。
- インターネット上の文献：著者名. 題名：発行所, 発行年. [URL（引用年月日）] の順とする。インターネット以外の手段では入手困難であり、かつ信頼性が確保された情報で一般読者が利用可能なものに限る。

(11).図表

- PowerPoint, Excel, JPEG 形式で作成し、本文とは別ファイルとする。
- 解像度は 300 dpi 以上を推奨。
- 図表には図 1、表 1 のように通し番号を付し、図・写真は下に、表は上にタイトル（キャプション）を付ける（和文原稿では和文または英語のいずれでも可）。
- 表の罫線は必要なものだけに限定し、垂直罫線の使用はできるだけ避ける。
- 画像の加工は科学的正確性を損なわない範囲とし、加工した場合は方法を明記する。
- 生成 AI を使用した場合は明記する。

2) . 総説、解説

本文の形式は特に定めませんが、原著に準じることを推奨する。

3) . 学術大会記録論文

原著に準じて、表題（和文および英文）、著者名（和文および英文）、所属（和文および英文）、臨床試験登録番号（該当する場合）、抄録（英文のみ）、キーワード、本文、謝辞、COI、引用文献、図表を記載する。なお、学術大会プログラム委員会などより別途指示があれば、それに従う。

4) .その他の原稿

編集委員会の判断による。

2. 原稿の書式

原稿は A4、横書き、文字は 12 ポイント、行間 1.5 行とし、Word 形式 (.docx) で記載する。フォントは、日本語は MS 明朝全角、英数字は Times New Roman 半角を標準とする。日本語原稿は、現代仮名遣いに従い、常用漢字を使用し（医学用語を除く）、句読点は、「、」（カンマ全角）および「.」（ピリオド全角）を使用する。

3. 原稿の長さ

1) .抄録

- (1). 原著論文、総説、解説：和文原稿は和文 600 字以内、英文 250 語以内。英文原稿は、英文 250 語以内。
- (2). 学術大会記録論文：和文原稿、英文原稿とも英文 250 語以内。

2) .本文

- (1). 原著論文、総説：和文は図表等、文献、注を含み 16000 字以内（図表等は 15 枚以内とし、1 枚は 400 字として換算する）。英文は図表等を含み 4000 語以内（図表などは 15 枚以内とし、1 枚は 100 語として換算する）。
- (2). 解説：和文は図表等、文献、注を含み 12000 字以内（図表等は 10 枚以内とし、1 枚は 400 字として換算する）。英文は図表等を含み 3000 語以内（図表などは 10 枚以内とし、1 枚は 100 語として換算する）。
- (3). 学術大会記録論文：和文は図表等、文献、注を含み 8000 字以内（図表等は 6 枚以内とし、1 枚は 400 字として換算する）。英文は図表等を含み 2000 語以内（図表などは 6 枚以内とし、1 枚は 100 語として換算する）。
- (4). その他の原稿：和文、英文とも編集委員会の判断による。

4. 単位

度量衡は国際単位系（SI）を用いる。

5. 用語

外国人名、薬品名などの科学用語は原語を用いる。固有名詞の頭文字は大文字とする。略語は、初出のときに正式名称のあとに括弧書きで記入する。ただし、一般化されている場合はこの限りでない。

6. 統計解析

使用した統計手法、有意水準、効果量（推奨）を記載する。

7. AI の利用について

- 1) .使用した AI ツール名、バージョン、利用目的を方法に明記する。
- 2) .AI を著者として記載することは不可。
- 3) .個人情報や機密データを AI に入力しないこと。
- 4) .画像生成 AI による画像加工の有無を明記する。
- 5) .AI 生成データを実データとして使用することは不可、
- 6) .必要に応じて、使用したプロンプトの概要を記載する。
- 7) .生成 AI による出力内容については、著者が確認し責任を負う。

2026 年 1 月 24 日制定